

会議等名	平成 27 年 第 1 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 27 年 2 月 20 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 30
場 所	海老名市役所 3 階 政策審議室
出席者	出席者：大治委員長、城向副委員長、市川副委員長、青木委員、阿部委員、霜田委員、諏訪委員、高橋委員、山田委員、大島委員、菅生委員、長谷川委員（以上 12 名出席） 欠席者：なし 海老名市：清水理事兼財務部長、伊藤企画財政課長、告原課長補佐兼政策経営係長、石田主査、西尾

1 開 会

伊藤 企画財政課長

清水 理事兼財務部長あいさつ

例年外部評価委員会では、年が明けてから、翌年度の外部評価に向けた準備を始めていただいていることから、平成 24 年度から会の数え方を年度ではなく年単位で行っている。今年度についても、今日から次年度の外部評価に向けて取り組んでいただくことになる。

今年度は、施策評価を試行的に実施していただいたが、施策は事業を束ねた目標であり、部や課を跨いで事業が位置付けられていることから、ヒアリングに対応することができなかった。外部評価委員会からの要望も受け、来年度は内部評価を行う次長がヒアリングに対応するよう、調整を進めさせていただく。

また、実施計画・行政評価調書の書き方についても、市民にわかりやすい記載とするよう毎年ご意見を頂戴していることから、今年度中に職員の意識向上を目的とした研修会を実施することとした。

本日の委員会は、次年度に向けた第 1 回目の委員会であることから、委員の皆様から忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

2 委員長あいさつ

今年初めての委員会となる。

本日は、前回の論議を受け、今年度実施した行政評価に改善を加えるよう、事務局が整理している。

委員の皆様から活発なご意見を頂戴したいと思うので、よろしくお願ひしたい。

3 議 題 【議事進行：大治委員長】

(1) 次年度の外部評価の進め方について

本題に対して、資料に基づき、“前回の委員会での意見に対する対応”“具体的作業方法”“平成 27 年度行政評価スケジュール（案）”について、事務局より説明を行った。

<結果概要>

- ・施策評価シートについては、“必要性”“優先度”“市関与の妥当性”“費用対効果”“施策見直しの余地”の視点で個別に評価し、“施策の推進に係る事業の適正配置”“施策の進捗・達成評価”で総合的に評価を行うよう、シートを修正する。修正案については、後日各委員へメール・郵送等により個別に意見を伺う。
- ・外部評価委員会による内部評価に対するヒアリングの実施時期は案どおり事業評価に係る担当課へのヒアリング実施後とする。

<主な質疑応答や意見>

1. 前回の委員会での意見に対する対応について

- ・施策評価について

【委員】 A、B、C評価にすると恣意的な評価になってしまう可能性があり、Aが付けにくくなる。

資料として示されている施策評価シートに吹き出しで記載されている“必要性”“優先度”“市関与の妥当性”“費用対効果”“施策見直しの余地”の視点で個別に評価し、“施策の推進に係る事業の適正配置”“施策の進捗・達成評価”で総合的に評価を行うことにすれば、その施策がどの分野で良く、どの分野で悪いのか一目で理解しやすくなるのではないか。

【事務局】 意見を基に、案として作成させていただく。

【委員】 今年度実施した施策評価では、施策としては非常に良い施策だが、施策を達成するための手段として位置づけられている事業に問題があるものがあると感じた。

【事務局】 施策評価シート1の下段は施策の進捗を評価するための項目になっている。事業は施策である目的を達成するための手段であり、事業が目的を達成するためのものとなっていなければ、評価も下がるものと考えられる。施策に位置づけられている事業のうち一部の事業が問題である場合、どの事業に問題があるかは、事業評価の中でわかるものもあるかと思う。併せて評価を見ることで見えてくると思う。

2. 平成 27 年度行政評価スケジュール (案)

- 【委員】 スケジュール (案) の中で、来年度新たに実施することになる外部評価による内部評価に対するヒアリングの実施時期について、事業評価を実施し、事業の内容を理解した上でなければ、施策を理解することは難しいと思う。
- 【委員】 この施策を達成するために位置付けられている事業はこの事業ではないのではないかと考える時間があると良い。そのためには、事業を理解した上で施策評価を実施した方がスムーズであると考えます。
- 【委員】 内部評価の評価結果の根拠を聞くことになると、事業評価を聞くことになり、内部評価に対するヒアリングを初めに実施した場合、担当課による事業についての説明を聞く前に聞くことになってしまう。
- 【委員】 施策は市の戦略であり、事業は実施手段である。初めに戦略を聞いても理解し難く、手段から理解を深めた方がわかりやすい。
- 【委員】 内部評価で何故その評価がされたのかを聞くことが必要である。事業評価前に一度ヒアリングを行い、事業評価後にも、再度ヒアリングを実施していただきたい。
- 【委員】 内部評価に踏み込み過ぎると外部としての視点が保てなくなる。施策の内容は聞く程度に留め、外部評価委員会は外部評価委員会として評価すべきであると考えます。
- 【事務局】 外部評価委員会で決定される外部評価にも行財政改革推進委員会で決定される内部評価にもそれぞれの独自性がある。評価の根拠を突き詰めすぎると独自性が保たれなくなる可能性もある。施策の評価は重要である。施策として有効なのか、進捗状況は如何か、独自性を持って評価していただきたい。

(2) その他

※時間に余裕があったため、グループ分け及び平成 27 年度外部評価外部評価対象事業の選定まで進めた。

<評価作業を実施するグループ分け>

以下のとおり決定 (前年度と同じ)

- ・ A グループ → 大治委員長、高橋委員、山田委員、長谷川委員
- ・ B グループ → 城向副委員長、青木委員、阿部委員、大島委員
- ・ C グループ → 市川副委員長、霜田委員、諏訪委員、菅生委員

＜平成 27 年度外部評価対象事業の選定について＞

以下のとおり決定

※評価対象施策・事業が位置付けられている政策

- ・ Aグループ → 第 1 章 政策 2：高齢者が元気なまちづくり
第 1 章 政策 3：誰もがいきいきと暮らせるまちづくり
- ・ Bグループ → 第 5 章 政策 1：活力と魅力あふれる産業の振興
- ・ Cグループ → 第 4 章 政策 1：住みたい住み続けたいまちの実現
第 4 章 政策 2：にぎわいと活力のある元気なまちづくり

＜平成 27 年 第 2 回海老名市外部評価委員会の日程について＞

以下のとおり決定

日時：5月 21 日（木） 13：00～

※正式には別途通知する。

4 閉 会

伊藤 企画財政課長

以 上